

地理情報システム学会特別セッション（1）

「マイクロジオデータの普及と利活用」についてのご案内

秋涼のみぎり、いよいよお健やかにお過ごしのことと存じます。さて表記の通り今年10月15日（土）、16日（日）に鹿児島市の鹿児島大学にて開催される地理情報システム学会内にて、マイクロジオデータ研究会に関する特別セッションを開催いたします。

本セッションでは産学官それぞれの領域の講演者から、マイクロジオデータを用いた研究、またマイクロジオデータが今後活躍することが期待される業務についてご講演頂きます。特に今回はまちづくりや地域活性化等に関連する研究・業務を中心にご講演頂く予定です。また公演後にはパネルディスカッションも開催いたします。

皆様には本セッションにご参加頂けるよう是非ご検討頂ければと思います。

＜場所＞

鹿児島大学（郡元キャンパス、鹿児島市）・会場A

＜日時＞

10月15日（土） 9:00～10:40

＜プログラム＞

9:00～9:10 マイクロジオデータ研究会の紹介

東京大学空間情報科学研究センター 特任研究員 秋山祐樹

9:10～9:25 研究者（学）の視点から：「マイクロジオデータが拓く新しい研究領域」

東京大学空間情報科学研究センター 特任研究員 秋山祐樹

9:25～9:40 研究者（学）の視点から2：「消費者回遊行動マイクロ履歴データからまちづくりに何がいえるか？－鹿児島都心部回遊行動調査の事例をmajieで－」

福岡大学経済学部 教授 斎藤参郎

9:40～9:55 データ利用者（官）の視点から：「鹿児島市の中心市街地活性化に関する取組について」

鹿児島市経済局商工振興部中心市街地活性化推進室 室長 唐鎌悟

9:55～10:10 データ保有者（民）の視点から：「現地住宅調査を通じた日本全国の建物データの開発－次世代 GIS マーケティングデータとしての可能性－」

株式会社ゼンリン G I S事業本部 マネージャー 新名聰

10:10～10:35 パネルディスカッション・質疑等

・コーディネーター

東京大学空間情報科学研究センター 教授 柴崎亮介

・パネラー

東京大学空間情報科学研究センター 特任研究員 秋山祐樹

福岡大学経済学部 教授 斎藤参郎

鹿児島市経済局商工振興部中心市街地活性化推進室 室長 唐鎌悟

株式会社ゼンリン G I S 事業本部 マネージャー 新名聰

10:35～10:40 次回の研究会のご案内

＜参加費＞

正会員または賛助会員枠の参加者 4,000 円

学生会員 4,000 円

非会員（一般：大学学部生以上） 6,000 円

高校生以下、70 歳以上 無料

※上記の参加費には本セッションだけではなく、15 日、16 日両日の全セッション・講演・展示等への参加費、講演論文集（CD-ROM）も含まれます。

＜参考：マイクロジオデータ研究会とは＞

2011 年 8 月 4 日に「マイクロジオデータ研究会」と呼ばれる研究会が発足し、マイクロジオデータの普及と利活用について産官学が共同で議論する場が生まれました。マイクロジオデータとは近年利用可能になりつつある、デジタル住宅地図やデジタル電話帳に代表される空間的精度と網羅性が非常に高いデータや、モバイル統計、GPS ログ情報、パーソントリップデータ、Web から収集出来る情報など加工余地が高いミクロスケールの非集計データのことを言います。既存の各種統計データでは実現し得なかった時空間的にきめ細やかな計画・解析等への利活用が期待されています。本研究会ではこのようなマイクロジオデータの獲得と加工の方法、マイクロジオデータの具体的な活用シーンの開拓、マイクロジオデータによる既存のデータの代替・補完の可能性の模索、そして新しいマイクロジオデータの発信と共有環境の構築を目指します。そのために「産官学における知識・技術の共有および協力体制の構築」を行う場を設け、各機関の有するシーズ・ニーズを結びつける役割を担っていきます。

＜連絡先＞

・マイクロジオデータ研究会 運営委員長

東京大学 空間情報科学研究センター

特任研究員 秋山祐樹 (aki@iis.u-tokyo.ac.jp)

・顧問

東京大学 空間情報科学研究センター

教授 柴崎亮介 (shiba@csis.u-tokyo.ac.jp)